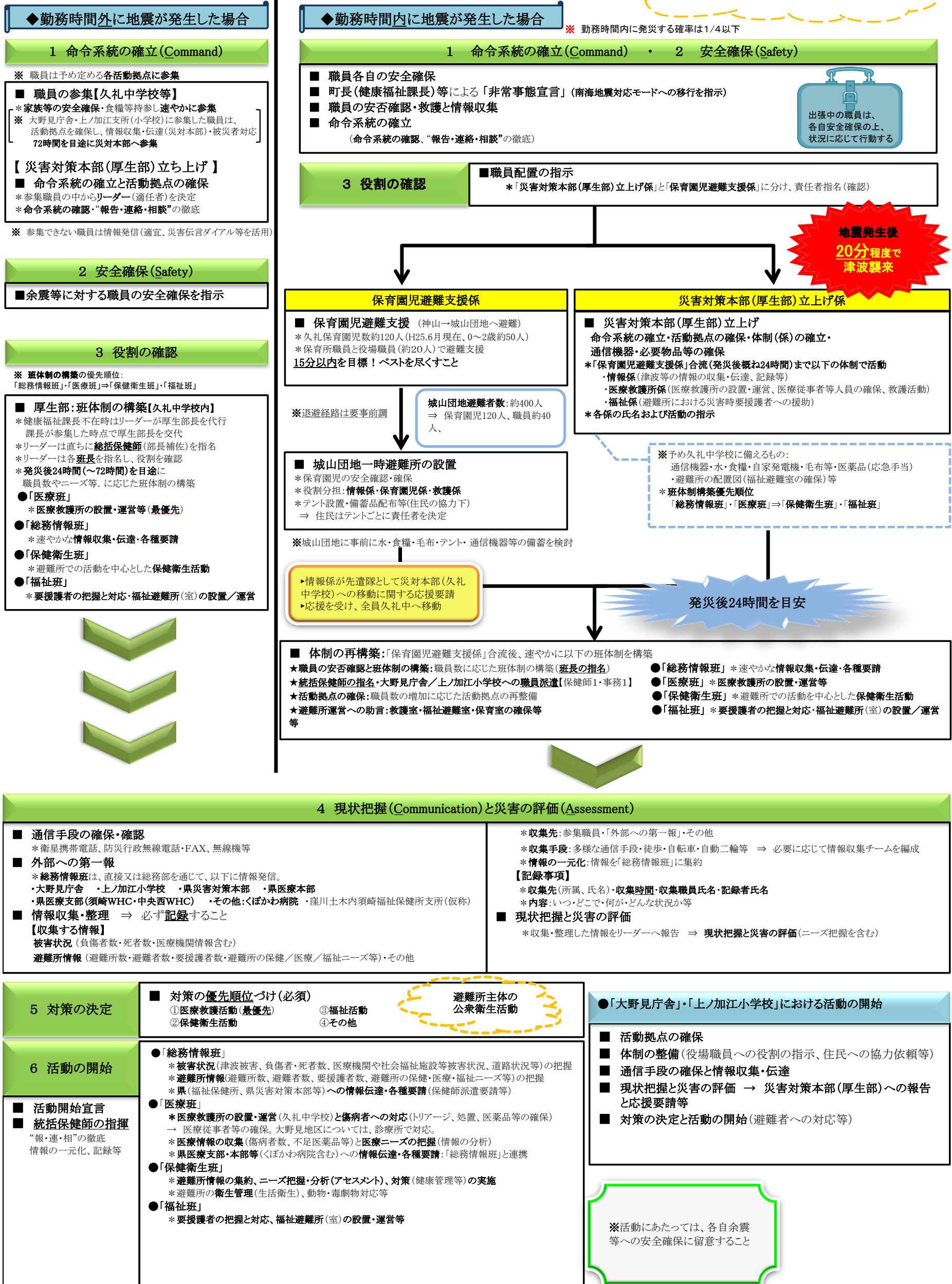


中土佐町(健康福祉課)南海地震発生時の応急対応の流れ:図14

- ※ 予め活動拠点(久礼中学校)を検討(確保)
- ※ 地震(揺れ)が収まり次第、速やかに久礼中学校に駆けつけ(20分以内を目標)、災害対策本部(厚生部)を立ち上げる
- ※ 津波襲来時や余震時には、各自が自己の安全を最優先に行動する(自分の身は自分で守る)こと
- ※ 職員の安否確認方法を職員に周知徹底(災害伝言ダイヤル活用等)

マニュアルは、あくまで基本(実際の活動は異なる)状況に応じて臨機応変に判断と対応!


4 現状把握(Communication)と災害の評価(Assessment)

- 通信手段の確保・確認
* 衛星携帯電話、防災行政無線電話・FAX、無線機等
- 外部への第一報
* 総務情報班は、直接又は総務部を通じて、以下に情報発信。
・ 大野見庁舎 ・ 上ノ加江小学校 ・ 県災害対策本部 ・ 県医療本部
・ 県医療支部(須崎WHC・中央西WHC) ・ その他:くぼかわ病院 ・ 窪川土木内須崎福祉保健所支所(仮称)
- 情報収集・整理 ⇒ 必ず記録すること
- 【収集する情報】
被害状況(負傷者数・死者数・医療機関情報含む)
避難所情報(避難所数・避難者数・要援護者数・避難所の保健/医療/福祉ニーズ等)・その他

- * 収集先:参集職員・「外部への第一報」・その他
- * 収集手段:多様な通信手段・徒歩・自転車・自動二輪等 ⇒ 必要に応じて情報収集チームを編成
- * 情報の一元化:情報を「総務情報班」に集約
- 【記録事項】
* 収集先(所属、氏名)・収集時間・収集職員氏名・記録者氏名
* 内容:いつ・どこで・何が・どんな状況か等
- 現状把握と災害の評価
* 収集・整理した情報をリーダーへ報告 ⇒ 現状把握と災害の評価(ニーズ把握を含む)

5 対策の決定

- 対策の優先順位づけ(必須)
- ① 医療救護活動(最優先) ③ 福祉活動
- ② 保健衛生活動 ④ その他

避難所主体の
公衆衛生活動

- 「大野見庁舎」・「上ノ加江小学校」における活動の開始

6 活動の開始

- 「総務情報班」
* 被害状況(津波被害、負傷者・死者数、医療機関や社会福祉施設等被害状況、道路状況等)の把握
- * 避難所情報(避難所数、避難者数、要援護者数、避難所の保健・医療・福祉ニーズ等)の把握
- * 県(福祉保健所、県災害対策本部等)への情報伝達・各種要請(保健師派遣要請等)
- 「医療班」
* 医療救護所の設置・運営(久礼中学校)と傷病者への対応(トリアージ、処置、医薬品等の確保)
→ 医療従事者等の確保。大野見地区については、診療所に対応。
- * 医療情報の収集(傷病者数、不足医薬品等)と医療ニーズの把握(情報の分析)
- * 県医療支部・本部等(くぼかわ病院含む)への情報伝達・各種要請:「総務情報班」と連携
- 「保健衛生班」
* 避難所情報の集約、ニーズ把握・分析(アセスメント)、対策(健康管理等)の実施
- * 避難所の衛生管理(生活衛生)、動物・毒劇物対応等
- 「福祉班」
* 要援護者の把握と対応、福祉避難所(室)の設置・運営等

- 活動拠点の確保
- 体制の整備(役場職員への役割の指示、住民への協力依頼等)
- 通信手段の確保と情報収集・伝達
- 現状把握と災害の評価 → 災害対策本部(厚生部)への報告と応援要請等
- 対策の決定と活動の開始(避難者への対応等)

※活動にあたっては、各自余震等への安全確保に留意すること